高　知　県　版

日本語学習支援　活動集

はじめに

本県にお住まいの外国籍住民は令和５年６月末時点では5,663人と、平成30年同月の4,371人と比較して５年間で1,000人以上増加し、過去最高となっています。こうした外国人の方々が、日本社会の中で生活していく上で必要な日本語を身につけ、教育や就労・生活の場で円滑に意思疎通できる環境を整備するため、県では令和４年３月に「高知県における日本語教育の推進に関する基本的な方針」を策定しました。

同方針では「日本語教育の機会の拡充」「日本語教育に関する理解と関心の増進等」「日本語教育に従事する者の能力及び資質の向上」を施策の３つの柱として位置づけ、日本語教育を通じて県民と外国人がお互いの文化的背景を理解し、尊重し、支え合うことによって、共に生き生きと輝ける共生社会づくりを目指すこととしています。中でも地域日本語教室は、地域における日本語教育を担う重要な存在として、外国籍住民数が多い市町村を中心に開設が進められているところです。

地域日本語教室は、単なる言語学習の場ではなく、地域住民とその地域に在住する外国人との交流の場であり、異なる文化の相互理解を促進し、外国人が生活に関する情報を得ることのできる、地域の国際交流拠点という側面も有しています。一方で地域日本語教室の多くは専門性を持たないボランティアによって運営されていることから、様々な日本語レベルや学習ニーズを持つ外国人学習者に対し、学習支援を行うことへの難しさが課題となっています。

そこで、県では、県内で日本語教師として活動されている方々のご意見をもとに、地域日本語教室で活動するボランティアと外国人学習者が、楽しみながら日本語を学習することができるアイディアをまとめた本活動集を作成しました。

各活動は、「語彙」「文法」「会話」の力をゲーム感覚で高めるものとなっており、学習者のレベルに合わせて難易度の変更や応用ができる工夫をしています。また、活動を通じて学習者と支援者のコミュニケーションを促進し、より良い関係づくりをサポートできるものとなっています。

本活動集を活用していただくことで、外国人学習者の日本語能力の向上や地域日本語教室における交流の活性化が進み、外国人と地域住民の双方が暮らしやすい、多文化共生社会の実現につながることを期待しております。

目　次

分類先が複数考えられる活動もあります。
各活動右上のキーワードも参考にしてください。

			入門	初級	中級	上級
初参加の日に	01	申込書 ＆ 名札	●	●	●	●
自己紹介	02	穴埋めカードで自己紹介	●			
テーマ雑談・「人となり」を知る活動	03	ぐるぐるまわり	●	●	●	●
	04	好きなもの紹介		●	●	●
	05	サイコロ・トーク		●	●	●
	06	写真を見てください		●	●	●
語彙を増やす活動	07	基本のことば150	●	●		
	08	ひたすら数えちゃえ！	●			
	09	オノマトペを覚えよう			●	●
	10	スリーヒント・クイズ		●	●	●
文法をきたえる活動	11	動詞から始まる	●	●		
	12	コロケーションを覚えよう		●	●	
会話に慣れる活動	13	ロール・プレイをしよう		●	●	●
土佐弁の聞き取り	14	土佐弁を聞き取ろう		●	●	●
読み書き	15	３択発音カード	●	●		

本書をお使いになる方へ

本書では日本語レベルを４つに分けました。活動を選ぶ際の参考にしてください。
記述はあくまでも**目安**です。特に、滞在期間と日本語レベルの相関には個人差があります。

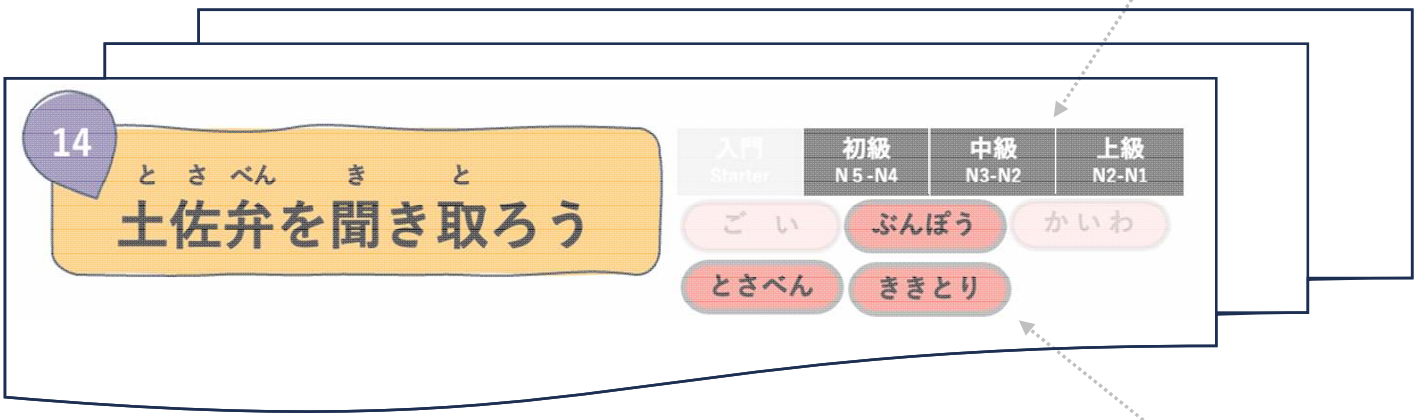
入門　ほとんど何もわからない状態。ゼロ初級ともいいます。

初級　JLPT（※）はN5,N4相当。日本人がかなりゆっくり話せば意思疎通できるレベルです。

中級　JLPTはN3, N2相当。日本人が普通に話していても大体内容が分かり、時々困りながらも、自分の言いたいことが伝えられるレベルです。

上級　JLPTはN2,N1相当。日本人相手であっても会話をリードできるレベルです。

※JLPT・・・Japanese-Language Proficiency Test（日本語能力試験）
日本語を母語としない人たちの日本語能力を測定し認定する試験です。
国際交流基金と日本語国際教育支援協会が実施しています。
https://www.jlpt.jp/



その活動の特徴を、キーワード（タグ）で表しました。
代表的なキーワードは「ごい」「ぶんぽう」「かいわ」で、以下のように定義しています。

ごい　純粋にことばだけを強化する活動です。文法の知識を問わないので、基本的にどんなレベルの方でも取り組みやすいです。

ぶんぽう　助詞や文型、活用などの練習です。日本語の構造を学ぶ活動で、日本語学習の柱となる部分です。「ぶんぽう」のタグがついていれば、そこには「ごい」の知識が含まれます。

かいわ　相手がある状況で、頭の中にある文法をどう切り出し、あるいは何を省略するかの判断をしながら、求められている課題をこなす実践練習です。このタグがついていれば、そこには「ごい」「ぶんぽう」の知識が含まれます。

また、本書では以下のような言葉も使っています。

Can Do　日本語を使って何がどれだけできるかを示したもの
学習者　日本語を学ぶ人（外国人）
支援者　学習者のサポートをする人
土佐弁　その地域の方言という意味です。高知県西部ではもちろん幡多弁を扱ってください。

こんな場合は、こんな活動！

学習者の声から

「**じこしょうかい** じょうずになりたいです」	→	**02, 03, 04**
「**ひらがな**（**かたかな**）やりたいです」	→	**07, 15**
「**ぶんぽう** やりたいです」	→	**11, 12**
「**かいわ**したいです」	→	**02, 03, 04, 05, 06, 13**
「**とさべん** むずかしいです」	→	**14**
「**すうじ/かぞえかた** おぼえたいです」	→	**08**

支援者の視点から

初対面。とりあえず、雑談をして人となりやレベルを知りたい	→	**01, 04, 07**
ほとんど意思疎通ができない	→	**01, 02, 07**
もっと語彙を増やさなければならない	→	**07, 08, 09, 10**
発音を改善したい	→	**15**
文がうまく作れないようだ	→	**09, 11, 12**
会話が続かない	→	**05, 13**
文法はもうできている。もっと難しいことをしたがっている	→	**04, 06, 13, 14**
数を言うのが苦手そうだ	→	**08**

01

申込書 & 名札

もうしこみしょ　な ふだ

入門 Starter	初級 N5-N4	中級 N3-N2	上級 N2-N1

ごい　ぶんぽう　かいわ

はじめて　初参加

学習者の基本的な情報の取得と日本語の**レベルの確認**を行います。
初めての共同作業を通して安心できる場所であることを感じてもらいましょう！

Can Do　自分についての基本的な情報を書き、相手に伝えることができる

たいしょう　初めて教室に来た人

じゅんび
- 申し込み用紙
- 名札用の布製ガムテープなど
- マーカーペン

やりかた

申込書

年　月　日

1	名前
2	何と呼んだらいいですか。
3	誕生日
4	日本の住所
5	電話番号
6	Email
7	出身（国、町）
8	いつ日本へ来ましたか。
9	何語が話せますか。
10	今の仕事
11	今まで日本語をどのくらい勉強しましたか。
12	どこで日本語を勉強しましたか。
13	教科書は何を持っていますか。
14	ここで何をしたいですか。
15	何が上手ですか。

① 申込書を学習者に渡して書いてもらいます。
⚠　30分ほどかかる人もいます。

② 様子を見て、書く手が止まっているような場合は、支援者が口頭で質問し、答えを聞き取って支援者が埋めてもかまいません。
「手伝いましょうか」と申し出て、反応を見てください。

※ かなが読めない場合、ローマ字版、翻訳付きなどの用紙を使いましょう。

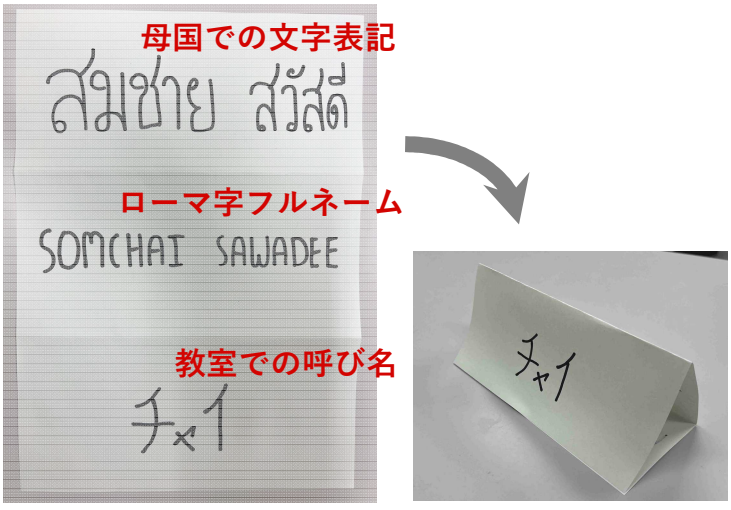
※ その日のうちにすべて埋めなくてもかまいません。最低限その日に埋めてほしいものに○をつけて渡し、残りは家で書いて次回持ってきてもらうこともできます。

名札

① 名札を書いてもらいます。
- 布製ガムテープ
- 養生テープ
- ラベルシール
- ネックストラップ

など、いろいろなものが使えます。
名札は見えやすいところに付けてもらいます。

② 「あなた」ではなく、お互いの名前を呼び合いましょう。早く打ち解けるために、ぜひ名札を活用してください。



A4の紙を使った例 →

01

申込書 & 名札

もうしこみしょ　　なふだ

こまったな

気分を害されたかもしれない

【無理強いできないもの】
性別、年齢（出生年）、家族構成、既婚/未婚、電話番号、住所などは、無理に聞き出すものではありません。参加者が空白のままを望むなら、それを尊重してください。
また、個人情報をどこまで聞くのか、またそれをどう管理していくのかは、それぞれの教室でガイドラインを決めておく必要があります。

【容姿・体型について言及すること】
たとえ相手が笑顔でも、たとえあなたに悪意がなくても、傷つけているかもしれません。
理由なく髪やお腹に触るのも、失礼な行為にあたります。

【決めつけ】
男性ならば、必ずフルタイムの仕事をしているはず？
女性だったら少食で、男性だったら料理は苦手？
これらはすべて単なる決めつけです。先入観や決めつけに気をつけましょう。

ポイント & アドバイス

- 学習者の中には、紙を渡されてじっと見守られると、プレッシャーを感じる人もいます。入室後すぐではなく、しばらく雑談などで打ち解けてから取り組みましょう。

- 名前は、ニックネームやフルネームも教えてもらいましょう。
母国の文字表記や、それに対応したローマ字でのつづり（パスポートネーム）もお願いできたらいいですね。そこから会話が生まれるでしょう。

- 趣味や特技を聞いておくと、将来的にその学習者や支援者が指南役になれるような活動が企画できるかもしれません。

- 名札は、最後に回収することで、その日の参加者が把握できるので事務処理にも役に立ちます。

応用わざ

- 書いた申込書を軽く参照しながら、自己紹介してもらうのもいいです。
☞ **活動03「ぐるぐるまわり」**

02

穴埋めカードで自己紹介

あなう　じ　こしょうかい

入門 Starter | 初級 N5-N4 | 中級 N3-N2 | 上級 N2-N1

ご い　ぶんぽう　かいわ

じこしょうかい　はじめて

自信を持って自己紹介ができるようにサポートしましょう！
友達の輪は、そこから広がります。

Can Do　定型のごく簡単な自己紹介ができる。

たいしょう　ほとんど日本語が話せない人で、初めて教室に来た人

じゅんび　自己紹介用の穴埋めカード
※学習者の**母語の訳語**がついているカードを準備してください。
国際交流基金『いろどり』入門　第3課-2, 3のようなカードなどを参考に作成します。
https://www.irodori.jpf.go.jp/assets/data/starter/pdf/X_L03.pdf

---

やりかた

① 学習者に下のようなカードを埋めてもらいます。
かなが読めない場合、下のように 適宜ローマ字をふってください。

② 支援者と一緒に**発音を練習**します。

じこ しょうかい
Self-introduction

はじめのことば
First words
Haji me ma shi te
はじめまして。

なまえ
Name
[　　] desu
です。

しゅっしん
Country
[　　] kara kimashita
から　きました。

おわりのことば
Final words
dō　zo　yoroshiku onegaishimasu
どうぞ　よろしくおねがいします。

02

穴埋めカードで自己紹介（あなうめカードでじこしょうかい）

かんたんに

紙を見ながらでも、言えたらOK!

むずかしく

「仕事は～」「家族は～」「趣味は～」「特技は～」「（いつ）に日本へ来ました」「（どこ）に住んでいます」「わたしは [フルネーム]です。[ニックネーム]と呼んでください」など、適宜追加しましょう。

支援者が「お名前は？」「お国はどちらですか」など、学習者に質問にすれば、質疑応答の練習になります。☞ **応用わざ** 参照

ポイント&アドバイス

■ 年齢、家族構成など、無理に聞き出さない配慮が必要です。

■ たくさんの文を一度に入れず、徐々に増やしてください。
まずは、自信を持って自己紹介できるようになることが大切です。

応用わざ

● 会話の量を増やしたい場合は、このような表を一人一枚渡して、教室内を自由に動きながら、参加者全体でインタビューするのもよいでしょう。

なまえ	くに	しごと	しゅみ	xx
さん				
さん				
さん				

03

ぐるぐるまわり

入門 Starter	初級 N 5 -N4	中級 N3-N2	上級 N2-N1

ご　い　　ぶんぽう　　かいわ

ききとり

トピックを決めてたくさんの人と話しましょう。
時間がくると話す相手が変わります！

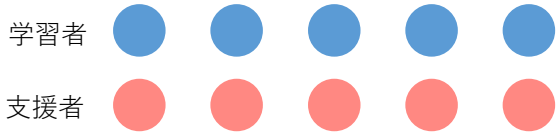
Can Do　人となめらかに対話できるようになる。

たいしょう　だれでも参加OK

じゅんび
- 人数分の椅子
- 時間を知らせる鐘
- 話すテーマ

やりかた

① 支援者と学習者が向かい合って座ります。

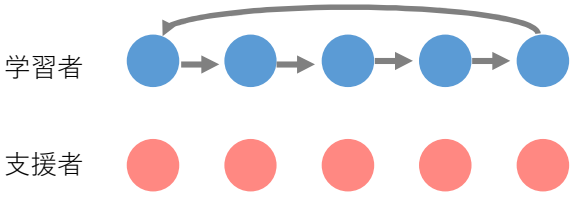


② テーマを決めて5分から10分間ひたすら話します。

※全員と話せるように時間を設定しましょう。

テーマ「仕事」の場合

③ 時間が来たら、鐘を鳴らし、一人ずつずれます。



03

ぐるぐるまわり

かんたんに

ジェスチャーや外国語、翻訳アプリを使ってみましょう。

むずかしく

話す内容を変えてみましょう。将来の夢や悩みなどを聞いてみましょう。
☞ **活動05「サイコロ・トーク」のお題の例** を参考に。

ポイント&アドバイス

■ 相手のレベルに合わせて、時間内は、ひたすら話しましょう。

■ 相手の様子を見ながら、わかる言葉に変えて、話しましょう。

■ 初級の学習者には、できるだけ方言を使わないで話しましょう。

■ 話しやすく話題にしやすい事柄をできるだけ日本語で話しましょう。

■ 支援者は、いかにして学習者から知っている日本語を引き出せるかを考えながら、話す訓練をしましょう。

■ 必ずしも一対一にしなくてもOKです。

■場合によっては、導入のアイスブレイクとしてやってみてもいいでしょう。
また、全員と話すことになるので、新しい学習者が多い時期などにやってみるといいでしょう。

応用わざ

● 日本語が書ける学習者にはメモをとるように指導してもいいです。
時間があれば、最後にどの話が面白かったか、感想を聞いてもいいでしょう。

04

好きなもの紹介（すきなものしょうかい）

入門 Starter | 初級 N５-N4 | 中級 N3-N2 | 上級 N2-N1

ごい　ぶんぽう　かいわ

じこしょうかい

自分の好きなこと・ものについて話しましょう。

Can Do　自分の好きなこと・ものの説明ができる。

たいしょう　基本的な単語（特に名詞）を知っている人。

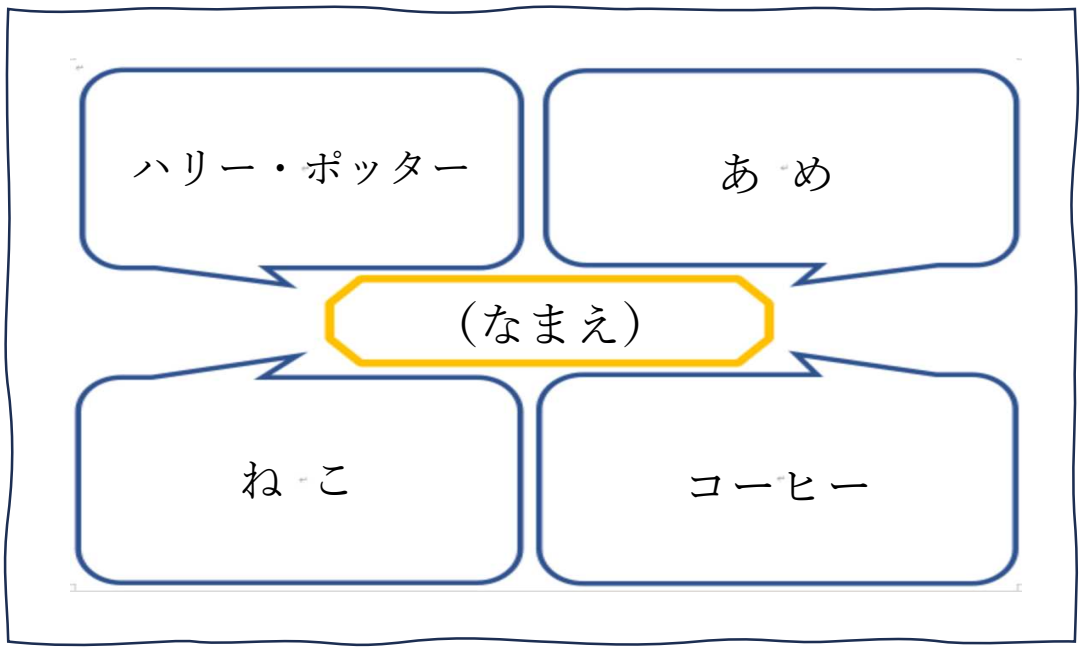
じゅんび
・用紙
・ペン（できればカラフルなペンやクレヨンなど）

やりかた

① 用紙の真ん中に呼ばれたい名前、周りの４枠に「好きなもの」を書きます。

② 「好きなもの」は、ジャンルでもいいし、作品やもっと細かいものでもOK。

③ ペアやグループで発表しましょう。
一人で話しても、みんなで質疑応答しながらでもかまいません。
自分の大好きなものを思う存分紹介してください。



04

好きなもの紹介（すきなものしょうかい）

かんたんに

- 好きなものを、ただ自由に列挙して４枠を埋める

  ハリー・ポッター　ねこ　コーヒー　雨

- ジャンルを意識して４枠を埋める

  映画　音楽　筋トレ　食べ歩き

- 一つのジャンルの中から、作品名で４枠を埋める

  ハリー・ポッター　となりのトトロ　名探偵コナン　タイタニック

- 一つの作品の中の登場人物で４枠を埋める

  ハリー・ポッター　ハーマイオニー　ダンブルドア　ロン

- 好きな登場人物の好きなところを書く

  ハリーは勇気がある　友達思い　信念が強い　努力する

むずかしく

ポイント＆アドバイス

■ 好きな気持ちが強ければ強いほど、くわしく伝えたくなるものです。
好きなこと・ものを列挙することは簡単なことですが、それぞれについて好きな理由を説明することはなかなか大変です。高い日本語能力が求められるので、学習者の伝えたい内容を表現できるようにサポートしましょう。

■ 「４枠を埋める」ということを分かってもらうために、まずは支援者さんが書いた例を見せ、発表して見せるのもいいでしょう。

05

サイコロ・トーク

入門 Starter | 初級 N5-N4 | 中級 N3-N2 | 上級 N2-N1

ご い | ぶんぽう | かいわ

グループ活動 | お題で話す

「同じ」ってうれしい！「違う」っておもしろい！
話したい気持ちになるのは、話を聞いてくれる仲間がいるからです。

Can Do

・テーマに沿って、ある程度まとまりのある話ができる。
・相手の知らないことや、知りたいことを推測しながら話すことができる。

たいしょう

基本的な単語（動詞・名詞・形容詞）がわかる人
（「部屋」「食べる」「おいしい」等）

じゅんび

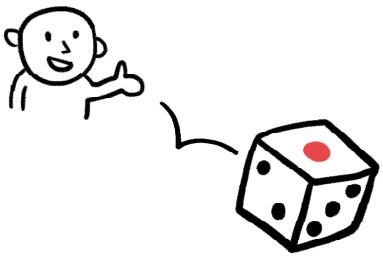
・お題
・お題を割り当てるための道具
　例1　サイコロ/番号札（下記イラスト参照）と、お題を書いたボード
　例2　お題を書いたくじ引き状のもの

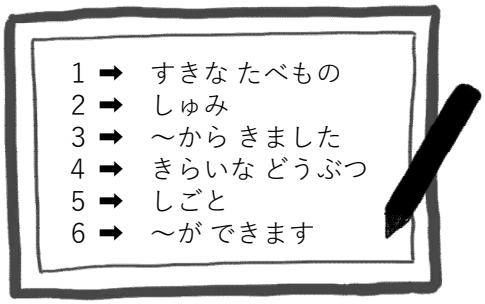
やりかた

① 3～4人ずつのグループになります。
学習者・支援者のバランスをとってください。
日本語レベルは、近い人同士の方が基本的には話しやすいです。
母語でのヘルプが必要な人は、先輩学習者の隣にするなど配慮してください。

② 司会役を決めます。重要なので、支援者が担当したほうがよいです。

③ サイコロを振った人がお題に沿って話します。





※ 一人で話しても、みんなで質疑応答をしながらでもかまいません。

※ 司会の人はあまり場をコントロールしすぎず、沈黙が続いたり、話しすぎる人がいる時だけ軽く仕切るようなイメージでかまいません。

05

サイコロ・トーク

お題の例

【難易度**低**】 ＜ 【難易度**中**】 ＜ 【難易度**高**】

- 好きな/嫌いな◯◯（食べ物、動物..）
- わたしの朝ごはん
- 趣味
- ほしいもの
- 出身地
- 仕事
- 家族
- かばんの中
- 日本で食べたおいしいもの
- （スマホ写真から）母国の風景

- 日本でびっくりしたこと
- 日本での楽しみ
- 週末の過ごし方
- 夏の思い出
- 最近のニュース
- 行ってみたいところ
- 私の宝物
- はまっていること
- 新年の習慣（行事）

- 将来の夢
- 名前の由来
- 好きな言葉（漢字）
- 好きな映画/本
- 尊敬する人
- 日本生活での疑問・不満
- 悩み

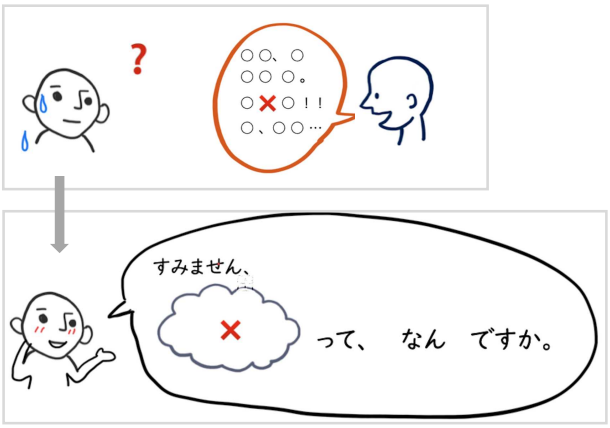
一般的に、具体的なもの・見せられるものは話しやすく、周りも質問しやすいです。
抽象的なこと、視覚で示しにくいものについて説明することは難しくなります。

話について来られない人がいる
そのような人を「**置いてけぼり**」**にしないよう、みんなでサポートしてください。**
その場にいる人すべてが話に参加できている状態が理想です。

また、ミニ・ホワイトボードや翻訳アプリ、画像検索など、使えるものは何でも使ってコミュニケーションを続けましょう。

一人ずつサイコロを振ると、目まぐるしくテーマが変わります。全員が一つのテーマについて順番に話していくと、難易度は下がります。あまり話せない人がトップで当たらないような配慮も必要です。

もし学習者の話の中で、意味のわからない言葉があれば、支援者さんの方から率先して
「それって、どういう意味ですか」
「〇〇って、何ですか」
というフレーズを使ってみてください。
学習者に「わからない時は聞き返していいんだ」と思ってもらえるでしょう。



06

写真を見てください
しゃしん　み

入門 Starter | 初級 N5-N4 | 中級 N3-N2 | 上級 N2-N1

ご　い　　ぶんぽう　　かいわ　　プレゼン

大人数でも、グループでも、一対一でも。
写真をきっかけに話してみましょう。

Can Do
- 写真を見せながら、相手にわかるように説明することができる。
- 疑問詞を使いながら質問ができる。

たいしょう
基本的な単語（特に「何」「だれ」などの疑問詞）を知っている人

じゅんび
各自のスマホ（写真アプリ）や、紙の写真
※大人数でやる場合は プロジェクタやTVモニタなど大きく映せる装置が必要です。

やりかた
① 発表者がひとつ、見せたい写真を選び、見せます。

② その写真について、自由に話します。
一人で話しても、質疑応答しながらでもかまいません。

発表者　写真を見てください。

何ですか？

発表者　日本のゲームです。

ゲームの名前は何ですか。

発表者　将棋です。昨日日本人に教えてもらいました。

おもしろかったですか？

発表者　難しかったです。
みなさん、やったことがありますか？

わたし、あります。
チェスとだいたい同じです。

06

写真を見てください

始める前に少し時間をとって考えてもらうと、言葉を準備する時間ができます。

「質問」→「答え」→「答えの補足説明」の順に難しくなります。
上級の学習者が退屈しないように、解説役などをお願いしてみましょう。
支援者が発表者になって、説明の難易度を上げてもいいでしょう。

質問が出ず、盛り上がらない
質問がなかなかできない学習者には「何」「いつ」「どこ」「だれ」などの疑問詞（場合によっては母語もつけて）を示してみてください。それでも出ない場合は、「名前は何ですか」「どこで買いましたか」など既成の質問をいくつか板書しておき、そこから選んでもらってください。

恥ずかしがって前に出てくれない
全体活動にせず、ペア活動やグループ活動に縮小してください。

母語が飛び交う
同じ職場、同じ出身地など、共通項のある学習者がレベルを超えて**助け合える**のがこの活動の醍醐味です。多少母語で相談タイムが始まっても、おおらかに待ちましょう。言いたいことが固まったあとに、何とか日本語で伝えようとする姿勢をサポートしてください。

- 「私の仕事姿」「新年の習慣」「はまっているもの」「日本のおいしい食べ物」「母国の風景」「家族」など、いくつかテーマを提示しておいて、学習者に選んでもらってもいいです。☞ **活動05「サイコロ・トーク」お題の例** 参照
- 写真アプリはプライベートなものなので、見せたいものだけが映るように十分な配慮をしてください。決して無理強いをしないでください。
- 関連語彙がどんどん広がる可能性があります。学習者が後でその言葉を調べられるように、支援者は重要そうなキーワードを板書するなどしてみましょう。

- この活動での質疑応答を原型として、スピーチやプレゼンテーションなどに発展させることもできます。

07

基本(きほん)のことば 150

入門 Starter	初級 N5-N4	中級 N3-N2	上級 N2-N1

ご い　ぶんぽう　かいわ

レベルを知る　フラッシュカード

まずはここにある150個が分かるか、チェックしてみましょう。
これが身についていれば、最低限の意思疎通ができるでしょう。

Can Do　生活に最低限必要な語彙（動詞・形容詞・名詞・副詞）が理解できる。

たいしょう　ほとんど日本語が分からない人、勉強したが忘れてしまった人

じゅんび　「基本の言葉150 」：事前にフラッシュカード状にしたもの

☞ **【付録データ】**

表：日本語

裏：母国語を記入する面

※付録データの一覧表にない言語については、翻訳アプリや翻訳ツールを使ってください。

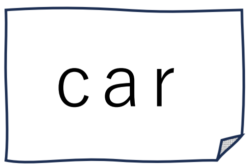
やりかた

① フラッシュカードの裏に支援者と学習者が母国語の訳を書きます。
一緒に読み合わせしながらやるとよいでしょう。

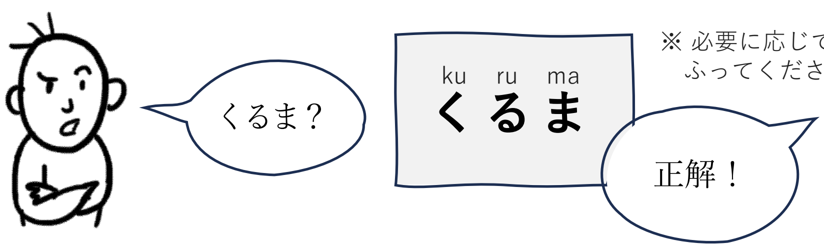
※ 一度に全部やる必要はありません。その日に意味を覚えきれる数でかまいません。

※ 訳を記入済みのカードは、この作業は不要です。②から始めてください。

② 支援者がフラッシュカードを一枚選び、学習者に母国語の面を見せます。

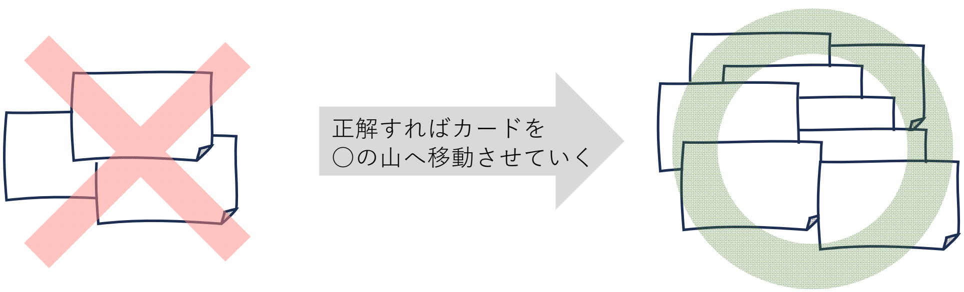


③ 学習者がそのカードの日本語を言います。支援者は正しく答えられたか判断します。
そのとき、学習者に日本語の面を見せてあげてください。



※ 必要に応じてローマ字も
ふってください。

④ わからなかったカードは別に集めておき、再度②から繰り返します。
最終的に○の山にすべてのカードが集まることが目標です。



07

基本のことば 150

かんたんに

- 日本語の面を見せて、母国語を答える方がやさしいです。
- 150枚が多すぎる人は、各品詞3枚ずつからスタートするなど、一回に扱う量を加減してください。
- まったく答えられない学習者には、一緒に読み合わせをするだけでもかまいません。その場合も、量が負担にならないように、その日に覚え切れる数を扱いましょう。

むずかしく

全部覚えてしまった学習者は、以下の活動に進めます。

- ➢ 品詞わけ（＝動詞、名詞、形容詞のグループに分類する）
- ➢ 反意語、同意語を考える
- ➢ カードをくじのように引いて、その言葉を入れた文を作る
- ➢ 動詞の活用によるグループ分け

※グループ分けは、国際交流基金『いろどり』初級１　第１課－１８「◆テ- form テ形」を参考にしてください。
https://www.irodori.jpf.go.jp/assets/data/elementary01/pdf/Y_L01.pdf

08

ひたすら数えちゃえ！（かぞ）

入門 Starter | 初級 N 5 -N4 | 中級 N3-N2 | 上級 N2-N1

ご い | すうじ | ぶんぽう | かいわ

たくさん数字を数えて、数字や数え方のルールを覚えましょう！

Can Do　数字を正確に言うことができる。

たいしょう　数字を覚えたばかりの入門の人

じゅんび　タイマー

やりかた

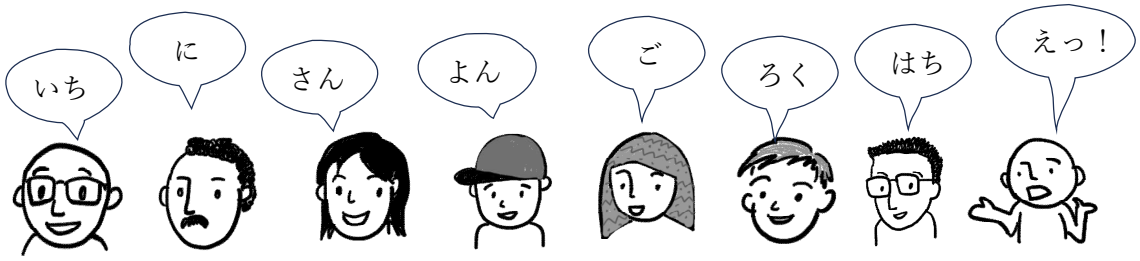
① 支援者が、制限時間内に数字を〇〇まで数えることを説明します。
（例：1分の間に、100まで数えます）

② 支援者は、最初の数字を言います(例：１)

③ 隣の学習者が、次の数字を言います(例：２)

④ その隣の学習者が、次の数字を言います(例：３)

⑤ 制限時間がきたら、ゲーム終了です！



- 制限時間内に言えるようになるまで、何度もやってみましょう。
グループ対抗にすると盛り上がります。

08

ひたすら数(かぞ)えちゃえ！

かんたんに

「10まで」や「20まで」でやってみましょう。

むずかしく

- 大きい数字から小さい数字へ逆に数えます。
- 昇順(1，2，3,･･･)・降順(100，99,98,･･･)を取り混ぜるのも盛り上がります！支援者が手をたたく度に、昇順・降順を入れ替えます。
- 奇数・偶数の数字だけを数えるのもよいでしょう。

- 数字に助数詞(個、本…)をつけて数えます。
- 日付(ついたち、ふつか…)もいい練習になります。

09

おぼ
オノマトペを覚えよう

入門 Starter | 初級 N5-N4 | 中級 N3-N2 | 上級 N2-N1

ごい | ぶんぽう | かいわ

オノマトペ

「ざあざあ」「にこにこ」… たくさんのオノマトペ（擬音語・擬態語）を覚えて、おしゃべりを楽しみましょう!

Can Do　いろいろなオノマトペを適切に使うことができる。

たいしょう　基本的な単語（中級以上の動詞・形容詞・名詞）が使える人

じゅんび　オノマトペを示すイラストや写真など

やりかた
① 支援者がひとつのオノマトペを、イラスト・写真などを使って学習者に見せます。
② 支援者がオノマトペを使って学習者に質問し、学習者が答えます。（下の表参照）
③ 支援者は学習者の答えが合っているか確認しましょう。
オノマトペを正しく理解できたら、他にも例文を作ってみましょう。

1	**びっくり**	どんなとき　びっくり　しますか？
2	**がっかり**	どんなとき　がっかり　しますか？
3	**ぐったり**	どんなとき　ぐったり　しますか？
4	**いらいら**	どんなとき　いらいら　しますか？
5	**どきどき**	どんなとき　どきどき　しますか？
6	**にこにこ**	どんなとき　にこにこ　しますか？
7	**びしょびしょ**	どんなとき　びしょびしょ　になりますか？
8	**からから**	どんなとき　のどがからから　になりますか？
9	**ぺこぺこ**	いつ　お腹がぺこぺこに　なりますか？
10	**もぐもぐ**	なにを　もぐもぐ　食べますか？
11	**ごしごし**	なにを　ごしごし　しますか？
12	**ごくごく**	なにを　ごくごく　飲みますか？
13	**ゆっくり**	なにを　ゆっくり　しますか？
14	**ぼろぼろ**	なにが　ぼろぼろ　になりますか？
15	**じろじろ**	じろじろ　見られたらどんな気持ちですか？
16	**ぺらぺら**	○○さんは　何語がぺらぺら　ですか？
17	**ぐっすり**	ぐっすり　はよく眠れた時ですか？あまり眠れない時ですか？
18	**ざあざあ**	ざあざあ　は強い雨ですか？弱い雨ですか？
19	**ねばねば**	ねばねば　しているものはなんですか？
20	**ふわふわ**	ふわふわ　しているものはなんですか？
21	**きらきら**	きらきら　しているものはなんですか？

※学習者がわかっていない時は、支援者が例文を出したり、学習者に例文を作ってもらったりして学習者の理解をサポートしましょう。

09

おぼ
オノマトペを覚えよう

ポイント

アドバイス

■リスト以外のよく使うオノマトペについても、質問を考えてみましょう。

■オノマトペは学習者にとって分かりにくいです。そのため、この活動は中級以上の学習者に向いています。初級の学習者と話す時は、できるだけオノマトペを使わない方が学習者に分かりやすいです。

10

スリーヒント・クイズ

入門 Starter	初級 N5-N4	中級 N3-N2	上級 N2-N1

ご い　ぶんぽう　かいわ

クイズ　発想力

語彙や文法だけではなく、発想力が決め手。
ことばを言い換えるスキルを身につけ、会話力を向上させましょう。

Can Do　一つの言葉を、相手に合わせて言い換えて説明することができる。

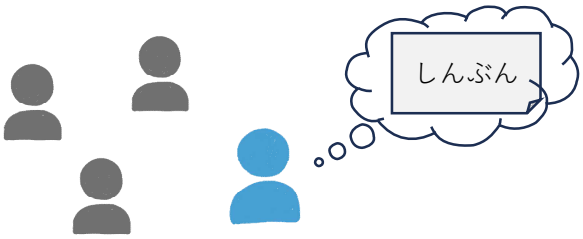
たいしょう　基本的な単語（動詞、名詞、形容詞）が分かる人。
☞ 07「基本のことば150」参照

じゅんび　お題（名詞）を一つずつ書いた小さな紙（くじ）

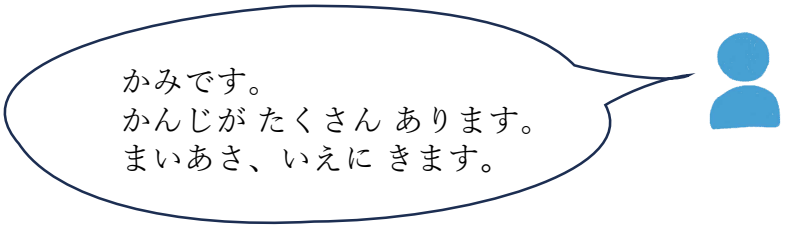
やりかた

① 学習者と支援者で3〜4人のグループになります。

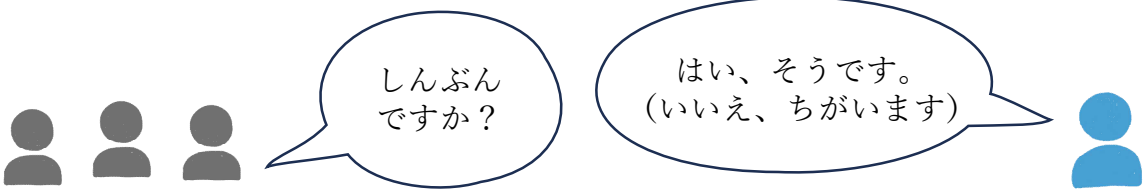
② 1人が、お題の紙の山から一枚取って、自分だけ見ます。



③ 自分のお題が何かを、三つの文で説明します。お題の名詞を使ってはいけません。



④ 他の人はお題を当てます。



⑤ 当たったら、次の人に交代します。

10

スリーヒント・クイズ

かんたんに

- お題の言葉がわからない人のためには、訳語やイラストをつけましょう。JLPT N5の語彙の問題や 活動07「基本のことば150」などをお題にしてみましょう。
- 文を思いつかないようなら、周りからの質問（例：食べ物ですか？）に答えて説明する形でもOKです。

むずかしく

- ヒントを３文ではなく、１文だけに制限します。
- 名詞を「平和」「約束」「流行」「失敗」といった抽象的なものにすると、難易度が上がります。JLPT N2, N1の語彙の本などからピックアップしてみてください。

ポイント&アドバイス

■「包丁」という言葉を知らなくても、「野菜を切るもの」と言えば伝わります。このような**言い換え**のテクニックは学習者にとっても、また学習者に言葉の意味を聞かれる立場にある支援者にとっても大切です。

「剣道って、どんなスポーツですか」「雇用保険って何ですか」...学習者に質問された時、あなたならどう説明しますか。

「やさしい日本語」「やさしい日本語　言い換え」等で検索すると、やさしい日本語で言い換える実践例がたくさんあります。

応用わざ

● この、**一人がお題をひいて、周りが当てる形式は、**スリーヒント・クイズに限らず、ジェスチャーゲームに応用できます。

例１）「魚」「スマホ」「自販機」などの言葉を、ジェスチャーだけで当てる。

例２）「シャワーを浴びています」「ラーメンを食べています」などの**現在進行形**をジェスチャーだけで当てる。

11

どうし　はじ
動詞から 始まる

入門 Starter	初級 N5-N4	中級 N3-N2	上級 N2-N1

ご い　ぶんぽう　かいわ

単文を作る

長い文を作るのはなかなか難しいです。
一番後ろに置かれる動詞がすべてのボスなのです。

Can Do

「わたしは昨日公園で友達と遊びました」のような、5〜6文節ほどの短文をつくることができる。

たいしょう

基本的な単語（動詞と名詞）が分かる人

じゅんび

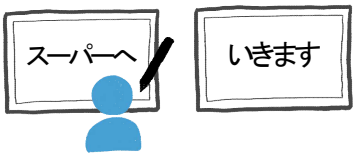
- ミニ・ホワイトボード１枚/人
  （テーブルでやるなら、グループ一つに紙１枚でもOK）
- ホワイトボード・マーカー

やりかた

① 2人以上のグループを作る。
② 支援者が基本動詞（☞ **活動07「基本のことば150」**を参考に）を一つ
ミニ・ホワイトボードに書き、発音もします。

例）

③ 次の学習者が、「何を」「どこへ」など、それを拡張する文節を一つ書いて、
②の左隣へ置きます。
例）「スーパーへ」 ➡□「スーパーへ行きます」と発音もします。



④ 次の人が③の人のさらに**左隣に**拡張します。
例）「ともだちと」 ➡□「友達とスーパーへ行きます」

⑤ ④の作業を繰り返します。
例）「にちようび」 ➡□「日曜日、友達とスーパーへ行きます」

⑥ 残った人がいれば、自由に修飾する言葉を考えて、適切な場所に、適切な助詞とともに入れ込みます。
例）「日曜日、友達と高知市の大きいスーパーへ行きます」

⑦ 最後に、みんなで作った文を一緒に読み上げましょう。

一般的には、以下のような語順がわかりやすい日本語です。

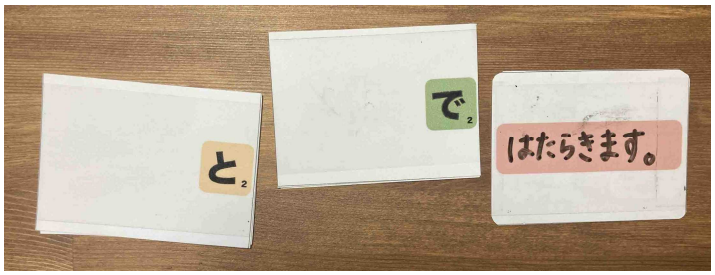
人は/が	いつ	人と	どこで	何をする。

11

どう し はじ
動詞から 始まる

かんたんに

適切な助詞をあらかじめホワイトボードに書いておいて、名詞だけ考えてもらえばやさしくなります。



写真のようなカードを作って、透明の梱包テープを貼るか、ラミネートをすればホワイトボード用マーカーが使えます。

ポイント&アドバイス

■文節とは、「**文を不自然ではない程度に区切った最小単位**」のことです。
「わたしはね、昨日ね、公園へね、行きました」のように、「～ね」が入るところが文節の切れ目です。この文なら４文節です。

■**単文**とは、「私は昨日映画を見ました。」のように、**述語が一つのシンプルな文**です。それに対して、「（私が）昨日見た映画は面白くなかったです」のように「主語＋述語」の中にもう一つ「（主語+）述語」が入っているような文を**複文**と言います。 まず、単文がきちんと作れるようになることは、初級前半の大きな目標です。

■いくら単文といっても、長いもの（４～５文節）をいきなり作るのは難しいことです。ですから、まず動詞を決めてから、そこに一文節ずつ足して、だんだん長くしていきます。これを「拡張ドリル」といいます。「わたしは」と**前から始めるのではなく、一番後ろの動詞から始めて、前へ前へ文を拡張していくことが、日本語学習のコツ**です。

■「～を」「～へ」といった文節は、動詞（「食べる」「行く」）の直前に置かれることが多いです。逆に、「明日」「いつも」「毎晩」など、時や頻度を表す言葉は文の冒頭に来ることが多いです。
日本語は、助詞さえ正しければ、文節を入れ替えても意味は通じます。しかし、「どこでもいいよ」ではなく、ある程度の「好ましい語順」を示してあげるといいでしょう。

12

コロケーション(おぼ)を覚えよう

入門 Starter | **初級 N5-N4** | **中級 N3-N2** | 上級 N2-N1

ごい | ぶんぽう | かいわ | **文作成**

「髪を切る」「髪が長い」・・・
たくさんのコロケーション（自然な語の組み合わせ）を覚えましょう。

Can Do　名詞と一緒に使うよく使われる語を正しく組み合わせて話すことが出来る。

たいしょう　基本的な単語（動詞・名詞・形容詞）が分かる人

じゅんび　名詞をグループごとにいくつか書いた紙（「やりかた」参照）

やりかた

①身に着けるもの、身体、病気、天気などのグループから名詞を一つ選んで、支援者が学習者に伝えます。

【身に着けるもの】（実物で提示しやすい）	【身体】（実物で提示しやすい）	【天気】	【病気】
帽子、靴、眼鏡、服、シャツ、ネクタイ、ズボン、スカート、靴下、マフラー、手袋、コート、ベルト、傘、ネックレス、指輪	髪、鼻、のど、腕、肩、ひじ、ひげ	天気、雨、雪、風、雷	風邪、熱、咳、薬、けが、血、吐き気、めまい、食欲

②学習者は、その単語とよく一緒に使う動詞または形容詞を組み合わせて短い文を言います。

③支援者は、学習者が言った文が正しいか確認し、間違っていたら正しい組み合わせを教えます。

支援者　「風邪」は「ひきます」と一緒に使います。
「風邪をひきます」と言います。
「熱」はどんな言葉と一緒に使いますか。

「あります」、「熱があります」

支援者　「熱があります」いいですね。
ほかには？（「熱」と一緒に使う言葉で、違う言葉はありますか？）

・・・・

支援者　きのうは38度でしたが、きょうは36度になりました。「熱が…」何と言いますか。

熱が低くなります？

支援者　「熱が下がります」と言います。
「今日は熱が下がりました」と言います。

12

コロケーションを覚(おぼ)えよう

かんたんに

学習者の様子を見て、支援者が**ジェスチャー**や**実物**でヒントを出します。
・ジェスチャーの例：歯をみがくジェスチャーをする⇨「歯をみがく」
・実物の例：セーターを着ている人を示す⇨「セーターを着ている」

むずかしく

コロケーションを二つ以上使って、長い文を作ってもらいます。
例）雨が降ってきたので、傘をさしました。

■ 学習者の様子を見ながら、ゆっくり考えてもらいましょう。

■支援者は、学習者から限られた語彙の日本語を引き出すために、具体的な例をあげて説明したり、身振り手振りを使って見せたりして、学習者にイメージを湧かせるのも効果的です。

■コロケーションの例

身につけるもの・・・帽子をかぶる、靴をはく、服を着る、服を脱ぐ　など

身体　・・・髪を切る、髪が長い、髪が短い、鼻をかむ、鼻が詰まる、のどが渇く、のどが痛い、腕を組む、ひじをつく　など

病気・健康　・・・熱がある、熱が出る、熱を測る、咳が出る、薬を飲む　など

天気　・・・天気がいい、天気が悪い、雨が降る、雨がやむ、雨が多い　など

13

ロールプレイをしよう

入門 Starter | 初級 N５-N4 | 中級 N3-N2 | 上級 N2-N1

ごい | ぶんぽう | かいわ | ききとり

「ロールプレイ」とは、支援者と学習者がそれぞれの役割（ロール)を決めて、その役割を演じることです。
日常生活で経験する場面を取り上げて役割を演じてみましょう。

Can Do

日常生活のいろいろな場面での会話ができる。

たいしょう

基本的な単語（動詞・名詞・形容詞）がわかる人から上級まで

じゅんび

（学習者のレベルに合わせた）役割と設定を書いたロールカード「A」「B」を作成してください。

やりかた

① 学習者が「A」、支援者が「B」の役になります。

② 学習者はロールカード「A」、支援者はロールカード「B」を取ります。
それぞれがカードを黙読して自分の状況を理解します。
（日本語レベルが低い学習者には翻訳をつけたロールカードを渡します。）

③ まず一度、練習なしでそれぞれの役割を演じてみます。

④ 支援者は、**演じ終わったあとに**、学習者が演じた内容が正しかったか確認しましょう。

ロールカード(例)
A:初めて日本語教室に来ました。クラスメートに自己紹介をしてください。
（ベトナム語） Hôm nay là lần đầu tiên tôi đến Lớp học tiếng Nhật của khu vực. Xin hãy tự giới thiệu với các bạn cùng lớp.

ロールカード(例)
B:今日新しい生徒が日本語教室に来ました。自己紹介を聞いた後で、あなたも自己紹介をしていくつか質問してください。
（ベトナム語）Hôm nay có học sinh mới đến Lớp học tiếng Nhật. Sau khi nghe giới thiệu bản thân, hãy tự giới thiệu và hỏi một vài câu hỏi.

※　場面やレベルによっては学習者同士で演じることもできます。

A：みなさん、初めまして。わたしはクォンです。
ベトナムから来ました。
どうぞ、よろしくお願いします。

B：クォンさん、私は山田です。
どうぞよろしく。
クォンさんはいつ日本に来ましたか？

A：先月きました。

B：そうですか。学生さんですか？

A：いいえ、実習生です。木村農園で働いています。

B：そうですか。私は日本語ボランティアです。
これからよろしくね!

かんたんに

最低限の名詞を使って、すらすら話せるようになるまで相手を替えてやってみましょう。

むずかしく

語彙を増やして、質問の幅を広げたり、学習者の答えからさらに詳しくいろいろなことを聞いてみましょう。

ポイント
アドバイス

■ まずは練習なしで、どのくらいできるかやってみましょう。

■ あまりにも沈黙が続いたり、言いたいことをうまく言葉にできない学習者には、ロールプレイの途中でも適宜語彙や表現をサポートしましょう。

■ 日常会話でよく使う「すみません。わかりません。」なども教えるとよいでしょう。

■ 語彙や表現を学習した後で、最後にもう一度ロールプレイをやってみましょう。最初の時よりも上手になっているはずです。

14

土佐弁を聞き取ろう

とさべん　ききとり

入門 Starter | 初級 N5-N4 | 中級 N3-N2 | 上級 N2-N1

ごい　ぶんぽう　かいわ

とさべん　ききとり

一見難しそうに思える土佐弁。何の話か推測できれば聞き取れます。

Can Do　土佐弁の文末の形になじみ、だいたい何を話しているかがわかる。

たいしょう　JLPT N5文法をいくつか知っている人

じゅんび　2人の会話のスクリプト（台本）
※ 国際交流基金『いろどり』初級１　第１課-11などの会話を参考にしてみましょう
https://www.irodori.jpf.go.jp/elementary01/pdf.html

やりかた

① 支援者がそれぞれ「A」「B」「ナレーター」の役になります。

② 支援者がスクリプトを土佐弁に変えて演じます。ナレーターは標準語でOK。

③ ナレーターが言った文に対して、学習者が〇か×か答えます。

スクリプト

A:Bさん、新しいスマホですね。

B:ええ、先週買いました。

A:田中さんのスマホより小さいですね。

B:ええ、少し小さいです。

★Bさんのスマホは田中さんのより小さいです。

ナレーター：Bさんのスマホは、田中さんのより小さいです。

支援者A：いやBさん、新しいスマホかね！

支援者B：うん、先週こうた。

支援者A：田中さんのがより こんまいねえ！

支援者B：うん、ちっとばあね。

14

土佐弁を聞き取ろう

かんたんに　まずは土佐弁ではなく、共通語（いわゆる標準語）でやってみましょう。

むずかしく　他の地域の方言、若者言葉、早口の人、年配の方の土佐弁などにも挑戦！

ポイント&アドバイス

■ 学習者は土佐弁を「聞いてわかる」ことが目標です。

■ **ない形→「ん形」**（例：飲まない→飲まん）
だ→「や」（例：元気だね→元気やね）
などのルールは、最初から教え込まないで、学習者が気づいた時に説明しましょう。

■ 土佐弁には共通語にない言い方があります。
例）会った→「おうた」、もらった→「もろうた」

■ いい→「えい」、はやく→「はよう」など、古い日本語もたくさん残っています。

応用わざ

お国はどちらですか。

国はどこ？　ご出身は？
どっから来たが？　どちらの方？
どっから来ちゅう？

① まずは一つの質問（例：「お国はどちらですか」）を共通語で聞いて、正しく答えられるか確認しましょう。
② 次に、同じ内容の質問を、丁寧度・表現・土佐弁等のバリエーションを変えて質問してみてください（上記参照）。その際、学習者はあくまでも「です」「ます」で答えます。基本的に学習者は**土佐弁を話す練習は必要ありません。**

※ 学習者にとっては、トピック（答えるべきこと）がわかっているので、疑問詞や述語などの「**大事なところ**は何か？」に集中できます。一つの答えに対して、実際の日本人はどんな聞き方をしているか、バリエーションを考えてみましょう。

15

さんたく はつおん

3択発音カード

入門 Starter	初級 N5-N4	中級 N3-N2	上級 N2-N1

ご い　ぶんぽう　かいわ

表記　はつおん

正しい発音、正しい表記。あいまいにせず、目で見て確認しましょう！

Can Do
- 言葉の正しい表記を認識できる。
- 表記と発音の関係を知って、自分で違いが分かる。

たいしょう
ひらがな・カタカナが読める人

じゅんび
表記を間違えやすい言葉のカード
☞【付録データ】

やりかた

① 支援者は、学習者にカードを１枚見せます。

カードの例

１　りょこう
２　りょうこ
３　りよこ

② 支援者は、カードに書かれている表記の中から、正しい言葉だけを発音します。

③ 学習者はそれを聞いて、正しい表記の番号を答えます。

④ 最後に、支援者は間違いの選択肢を隠し正しい表記だけを見せて、学習者にも発音してもらいましょう。

15

さんたく はつ おん

3択発音カード

かんたんに

2択にします

むずかしく

・「発音が聞けるのは1回だけ」など、制限をかけると難しくなります。

・「かす」➡ 「貸す」「資す」「賃す」「質す」のように、形の似ている漢字語彙で4択のカードを作ると、JLPT対策にもなります。

こまったな

発音はいいのに、正しい表記が選べない

表記には、ルールがあります。
また、日本語の「拍（はく）のとり方」（＝1音の数え方）も、学習者には一定の練習が必要です。

例）「き」→1拍
「きょ」→ 1拍
「きょう」→ 2拍

以下を参考に、苦手なポイントを探してみてください。
・文化庁Webサイト「つながる ひろがる にほんごでのくらし」：日本語の「おと」
https://tsunagarujp.bunka.go.jp/nihongo#sound

表記は正しく選べるが、発音がおかしい

まず、**その人の発音がどんな音になってしまっているか**を伝えてみましょう。
表記を使って指摘すると、伝わりやすいです。たとえば、「つなみ」を「ちゅなみ」と発音してしまう人には、「つ」と「ちゅ」だけを紙に書き出して、支援者が交互に指差しながら「つ、ちゅ、つ、ちゅ…」と発音してもらい、自分の口の中の動き（違い）を意識してもらいましょう。

その時はできても、すぐに発音が元に戻ってしまう

戻っても、かまいません！
発音は、普段の生活の中では意外と誰からも指摘されずに過ごしているものです。皆さんとのこのような活動を通じて、発音への意識を高めていくことで、学習者が自分で自分の間違いに気づきやすくなります。

ポイント&アドバイス

■ あまりしつこく指摘すると、自信の喪失につながります。「前回よりよくなっている点」を見つけて、伝えていくことが大切です。

■ 余裕がある学習者には、カードの裏に母国語訳を書いていってもらうと、次に使う入門レベルの人が楽になります。

発行　高知県文化生活スポーツ部文化国際課
〒780-8570 高知市丸ノ内1丁目2番20号
TEL: 088-823-9605　　FAX: 088-823-9296

発行日　令和6年3月

制作　NIHONGO室戸（代表 市川理沙）

協力　・高知県地域日本語教育コーディネーター　今井多衣子、尾中美代子
・高知日本語サロン　佐藤恵子、国沢由美子
・高知大学人文社会科学部　渡辺裕美ゼミ